

釣り人が河口に転落 連携救助 功を奏す

中消防署長から感謝状



永井中消防署長から感謝状を受け取る
原陽子さん(6/15 中消防署にて)

五月十七日の午後十時四十分頃、柳山津輿の伊勢湾海洋スポーツセンター東の岩田川河口堤防付近で発生した水難救助事案で、尊い命を迅速・的確な連携プレーによって救助した功勞を称え、久居新町の自営業奥山元章さん、新町三丁目の介護福祉士原陽子さん、寿町の自営業桑原和照さんに永井久雄中消防署長から感謝状が贈呈されました。救助内容については、釣り人が同堤防から海に誤って転落し、周囲には人がなく、約三十分ほど海上で助けを求めていたと



お気をつけて、
りをする時は、
くれぐれも釣
と述べました。
謝しています。

ころ、釣りにきた奥山さんと原さんが堤防下(高さ約三メートル)の壁面につかまっている三十代の男性を発見し、奥山さんらはズボンのベルトを繋ぎ合わせ、救助を試みましたが失敗したため、奥山さんはその場で監視し、原さんは堤防の袂付近まで必死に走り、釣りをしていた桑原さんに協力を求めるとともに携帯電話で一―九番通報をしました。その後、桑原さんが持参していた釣り用のたも網の柄(長さ四メートル)を使用し三名が協力して、転落した釣り人を堤防への引き揚げ可能な場所まで五十メートルほど引つ張り釣り人を引き揚げ救助しました。

事故当時は、夜間ということもあり人がなく、偶然に釣りに来た人などの一致協力で救助されましたが、原さんは「助かって本当に良かった。」と話していました。また、永井中消防署長は、「水難事故は一瞬でも助けが遅れたら、大変な事態になります。真つ暗で足元が悪い中、素早い行動が尊い命を救い、感謝しています。」と述べました。

東の空から白いぽいもの 山中に墜落か??

半田で飛行物体 へり出動



落下物体の搜索を開始する消防隊員
(6/1 半田地内にて)

六月一日の午前十時頃、半田市内の県道を業務のため、津市中心部へ向かう途中の同市消防本部職員(二名)が、「東の空からパラシュートかパラグライダーのような白い飛行物体が近隣の山に墜落していったように見えた。」と同本部へ通報しました。通報を受け、同本部から消防職員約十名が出動しました。

また、三重県警察航空隊ヘリコプターなども上空から搜索、

後には同県警や地元消防団の神戸・橋南分団にも応援を求め、搜索隊を約四十名に増員、地上と空から搜索が続けられました。だが、落下物体は発見できず、午後四時に搜索は一旦打ち切られました。

付近は一時騒然となりましたが、搜索現場周辺には民家などがなく、大勢の野次馬が集まるような騒ぎにはなりません。近くは道走るドライバーは、心配そうに搜索を見守っていました。



119番通報、住所、場所は正しく!

職場・家庭からの通報は、なるべく一般電話で消防指令システムでは、家庭や職場にある一般電話や公衆電話から119番通報すると、コンピューター処理によって、通報した場所の位置図がすぐに特定できます。しかし、携帯電話から119番通報すると、現在のところコンピューター処理ができないため、場所を詳しく聞かないと特定できません。

119番通報をするときは、屋外で発生した災害・事故などやむを得ない場合を除き、できる限り一般電話や公衆電話を利用して下さい。

通信指令課